



HIBY MUSIC USER MANUAL



目次

HiBy Music マスター画面	3
メニュー	4
Wi-Fi経由で音楽をインポート	5
音楽をスキャン / ダウンロード管理	6
イコライザ / MSEB	7-8
プラグイン	9-12
スリープタイマー	12
設定	13-18
ユーザーズガイド / アプリについて	18
HiBy Music 操作説明	19-22
再生画面	23
歌詞表示方法	24-27
アートワーク表示	28
免責事項	29



HIBY MUSIC



HIBY MUSICメニュー

HiBy Musicに関する設定をします。

HiBy Musicは、イコライザー、MSEB、再生に関する様々な設定が出来ます。

ここでは、Android版を説明します。

メニュー



WiFi経由で音楽をインポート



プレイヤーとパソコンを同一のネットワークに接続します。

パソコンのインターネットブラウザに、表示されている

<http://192.168.xx.xx>

を入力します。

接続が成功すると、インターネットブラウザに本体ストレージ内に入っている音楽ファイルを表示します。

Micro SDカードとは通信出来ません。

■ サポートされている音楽フォーマット

ISO, DFF, DSF, APE, FLAC, AIF, WAV, M4A, AAC, MP3, OGG, OGA, WMA, CUE, M3U, M3U8, OPUS

■ サポートされているアルバムアートフォーマット

PNG, JPG, JPEG

■ サポートされている歌詞フォーマット

LRC

HiBy Music

2020/11/13 16:30

HiBy Music

サポートされている音楽フォーマット: ISO, DFF, DSF, APE, FLAC, AIF, WAV, M4A, AAC, MP3, OGG, OGA, WMA, CUE, M3U, M3U8, OPUS

サポートされているアルバムアートフォーマット: PNG, JPG, JPEG

サポートされている歌詞フォーマット: LRC

📁 ファイルをアップロードする 📁 フォルダを作成する 🔄 更新

R6PRO: /storage/emulated/0/Music

📁 1K	➡	🗑️
📁 CHECK	➡	🗑️
📁 DEGAUSS	➡	🗑️
📁 DSD	➡	🗑️
📁 FLAC	➡	🗑️
📁 Oscillator	➡	🗑️
📁 PINK	➡	🗑️

http://192.168.11.59:4399/

1 / 2 ページ

音楽をスキャン



■ 音楽のfileとfolderのみ表示

スライダーをオンにすると、“フォルダ”項目で音楽ファイルを選択した場合、音楽ファイルが入っているフォルダ、音楽データのみ表示します。

■ 500KB以下の歌をスキャンしない

音楽データでファイルサイズが500KB以下のデータをスキャンしません。

■ 60秒以下の歌をスキャンしない

音楽データで曲の長さが60秒以下のデータをスキャンしません。

■ M3Uファイルによってプレイリストを作成

音楽をスキャンした時に、M3Uを読み込んでプレイリストを作成します。

■ 全てスキャンします

本体ストレージ、Micro SDカード全てをスキャンします。

■ 指定ホルダーによるスキャン

フォルダーを指定してスキャンします。

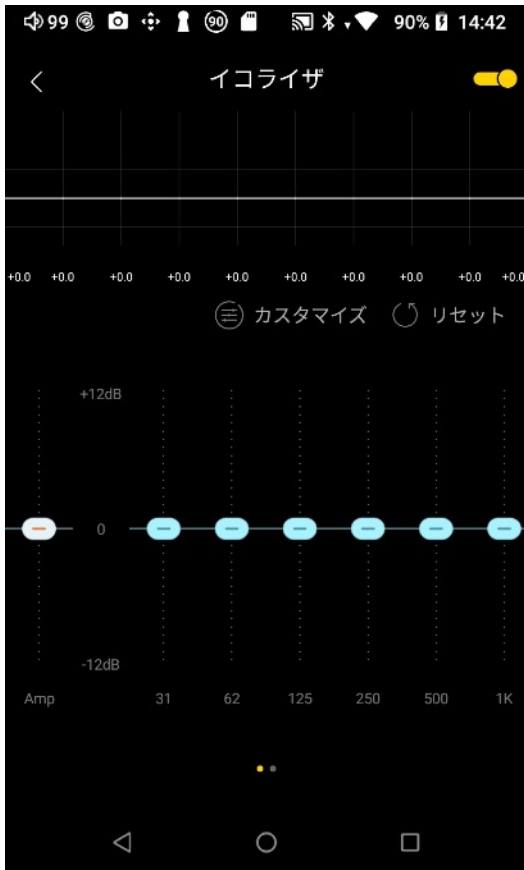
ダウンロード管理



本体ストレージ内の“HiByMusic/Download”フォルダにあるファイルを管理します。

このフォルダには、HiByMusic内の機能でダウンロードされた曲が格納されます。

イコライザ



10バンドイコライザーを設定出来ます。
右上のスライダーでイコライザーをオンにします。
リセットボタンで、イコライザーの設定をリセット出来ます。

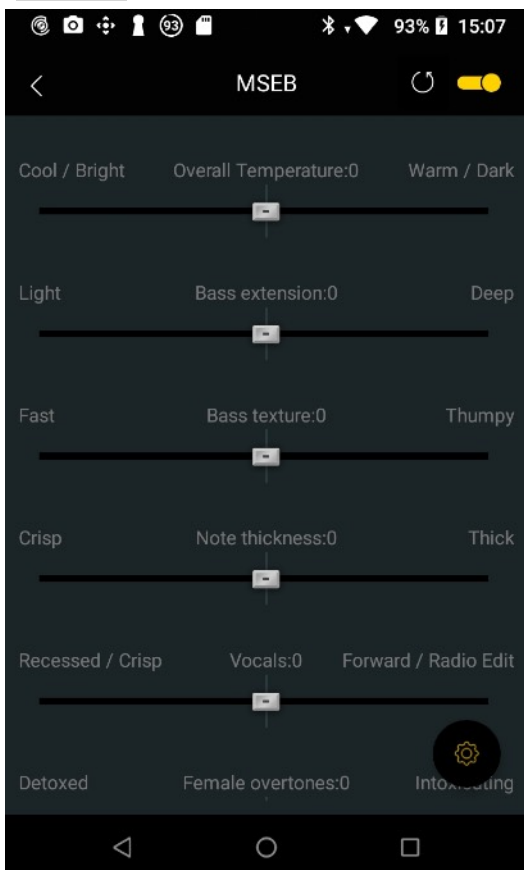
“カスタマイズ”を押すと、EQプリセットの選択が出来ます。
カスタマイズを選択すると、フラットなイコライザーから調整出来ます。

違うプリセットを選択しても、変更した設定情報は保存されています。

プリセットのデフォルトに戻したい場合は、リセットボタンを押してリセットします。

DSD,MQA出力は、EQが利用できません。

MSEB



右上のスライダーでMSEBをオンにします。
その左側のリセットボタンで、MSEBの設定をリセット出来ます。

右下の設定ボタンを押すと、保存したMSEB設定の選択、スライダー範囲の設定を選択出来ます。

保存ボタンで、MSEBの設定を保存出来ます。
ロードボタンで、保存したMSEBの設定を呼び出せます。

MSEBは、パラメトリックイコライザー (PEQ) に基づく複数のアルゴリズムと、好みに合わせて調整する音場調整を組み合わせたものです。

DSD,MQA出力は、MSEBが利用できません。



● Overall Temperature : 温度感
Cool/Bright→冷たい/明るい音
Warm/Dark→暖かい/暗い音

● Bass extension : 低音拡張
Light→軽快な音
Deep→低音の深さのある音

● Bass texture : 低音の質感の変化
Fast→低音減少
Thumpy→低音強調

● Note thickness : 音の厚みの変化
Crisp→パキっとした音
Thick→音の厚み強調

● Vocals : 声の音域の変化
Recessed/Crisp→減少
Forward/radio Edit→強調

● Female : 女性ボーカル音域の変化
Detox→減少
Vivid→強調

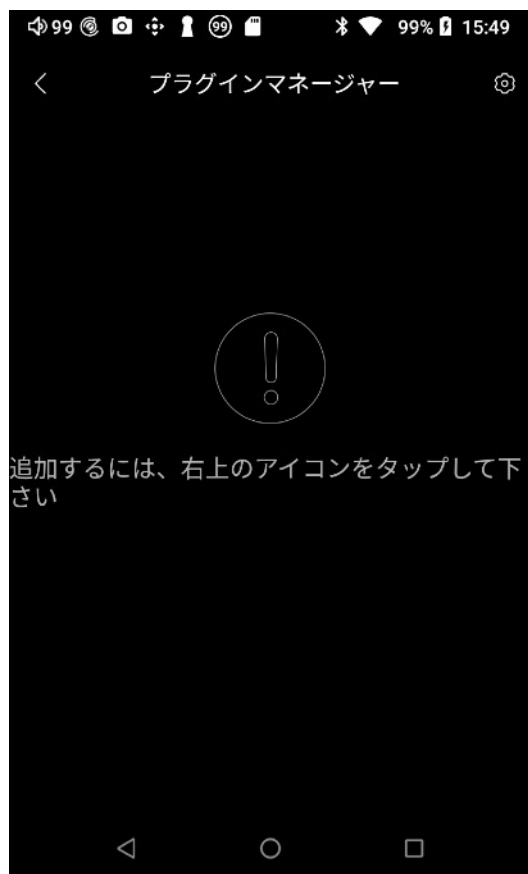
● Sibilance LF : 歯擦音低域の変化
Soft→減少
Crisp→強調

● Sibilance HF : 歯擦音高域の変化
Soft→減少
Crisp→強調

● Impulse response : インパルス応答
Slow/Musical→遅い
Fast/Hard→速い

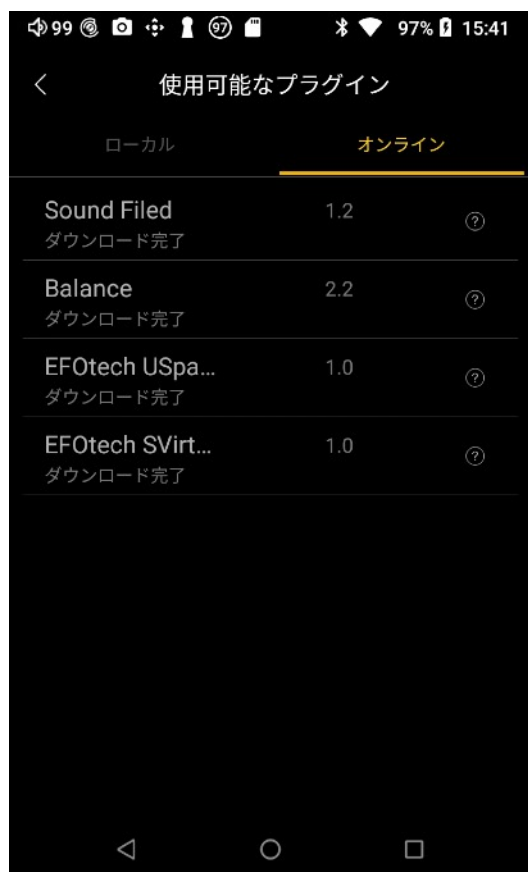
● Air : 空気感
Soft→軟らかい音
Crisp→パキっとした音

プラグイン



■プラグインマネージャー

右上の設定マークをタップすると、オンライン上からプラグインをダウンロード出来ます。



"オンライン"の項目で、プラグイン名をタップすると、本体にプラグインをダウンロードします。

"ローカル"の項目にし。プラグイン名をタップすると、プラグインがインストールされます。



プラグインマネージャーに戻ると、プラグインがインストールされ、使用出来るようになっています。

右側のチェックマークがオンオフボタンです。プラグイン名をタップすると、設定を変更出来ます。

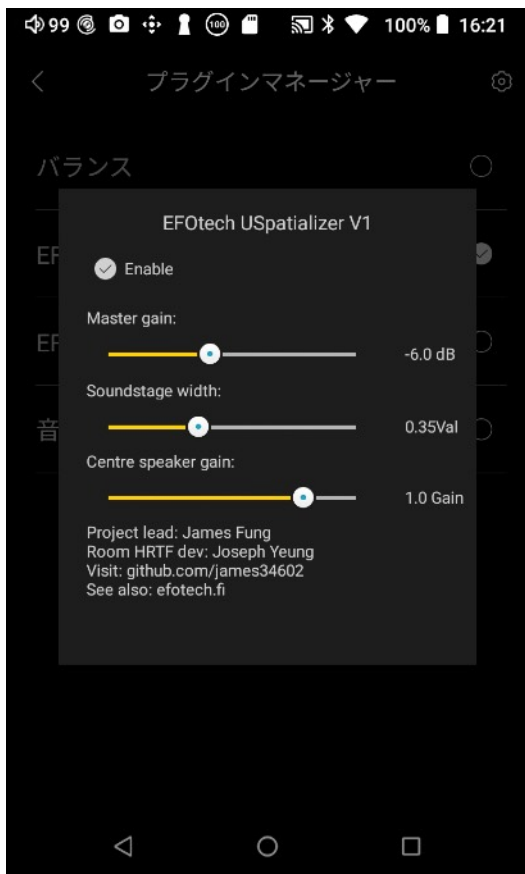
プラグイン名を左にスワイプすると、アンインストール出来ます。

※プラグインがオンになっていない状態でも、インストールしただけの状態でも、再生時にサンプリングレートが48kHzに固定されてしまいます。使用しない場合はプラグインを削除してください。



■ バランス

スライダーを左側にすると、Lだけの音がL側から出て、スライダーを右側にすると、Rだけの音がR側から出ます。



■ EF0tech USpatializer

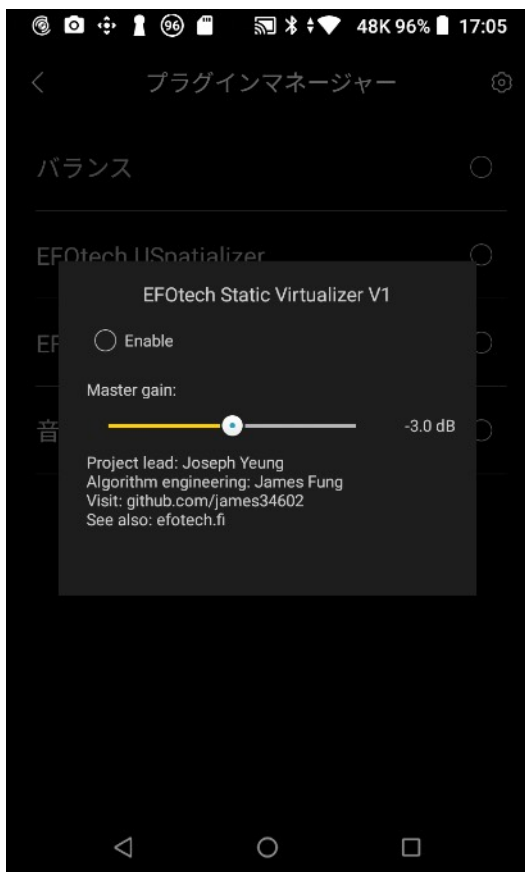
EF0techがお届けする優れたヘッドホンSpatializerおよびrealizerです。原音忠実度を失うことなく、ヘッドホンのステレオ音場をリアルなスタジオ品質のマルチチャンネルサラウンドに拡張します。

1. EF0tech USpatializerとEF0tech SVirtualizerの両方ではなく、どちらか一方を有効にしてください。
2. このプラグインは、プラグインマネージャーインターフェイスに追加された直後に有効になります。**出力オーディオのサンプルレートは48kHzに固定されます。**
3. このプラグインはDSDオーディオでは有効になりません。
4. このプラグインは、352kHzまたは384kHzの出力オーディオには効果を与える事が出来ません。

Master gain:エフェクトのかかり具合を調節します。

Soundstage width:音場の広さを調節します。

Center speaker gain:センターの音の音量を調節します。

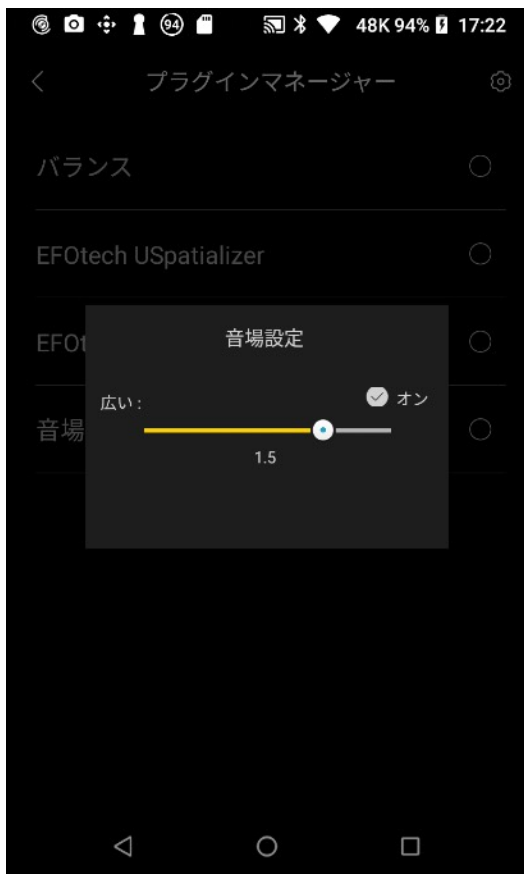


■ EF0tech SVirtualizer

JosephYeungによって開発されたHRTFモデルに基づいてJamesFungによってプログラムされた2チャンネルヘッドホンバーチャライザー。ヘッドホンステレオを最大のリアリズムでHiFiホームステレオスタイルに拡張します。

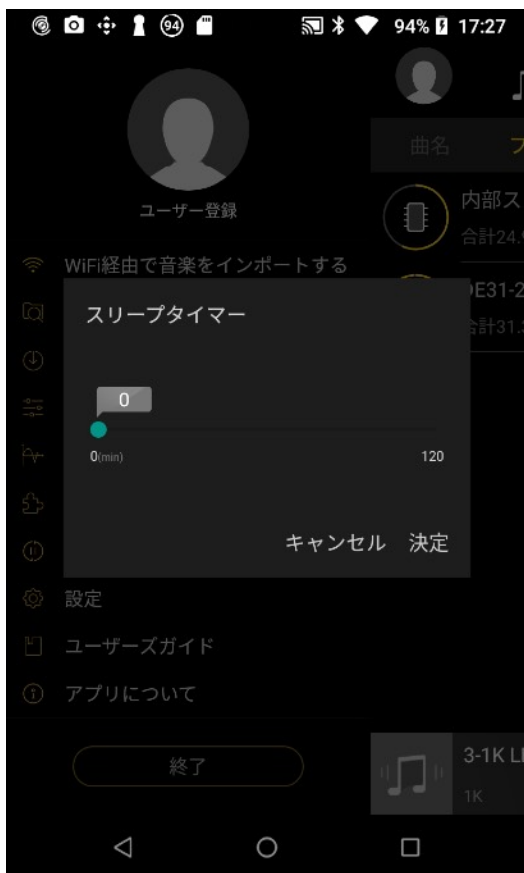
1. EF0tech USpatializerとEF0tech SVirtualizerの両方ではなく、どちらか一方を有効にしてください。
2. このプラグインは、プラグインマネージャーインターフェイスに追加された直後に有効になります。**出力オーディオのサンプルレートは48kHzに固定されます。**
3. このプラグインはDSDオーディオでは有効になりません。
4. このプラグインは、352kHzまたは384kHzの出力オーディオには効果を与える事が出来ません。

Master gain:エフェクトのかかり具合を調節します。



■ 音場設定

音場の広さを調節出来ます。
右に行くほど音場が広がります。



■ スリープタイマー

タイマーを設定すると、設定した時間が経過すると再生している音楽を停止します。

0でオフになります。
最大120分まで設定出来ます。

設定

歌詞表示

音楽を再生している時に歌詞を表示する場合はオンにします。

ヘッドホンを外した時、再生を停止する

オンにすると、ヘッドホンジャックからケーブルを抜いた時、再生している曲を停止します。

楽曲の移行の間

楽曲を再生している時、次の曲に変わる時の移行の方法を設定します。

ギャップレス再生：曲の再生が終わると、すぐ次の曲を再生します。

フェードイン/アウト：曲の終わりは徐々に音量が下がります。次の曲は徐々に音量が上がります。

一時停止：曲間に短い無音を挿入します。

リプレイゲイン

音源データに、リプレイゲイン情報が埋め込まれている場合に、この設定を切り替える事で、再生時の音量を調整出来ます。

トラックごと：リプレイゲイン情報を読み込んで、トラックごとに音量を調節します。

アルバムごと：リプレイゲイン情報を読み込んで、アルバムごとに音量を調節します。

オフ：リプレイゲイン情報を読み込みません。

最後の楽曲から再生を再開する

オンにすると、スリープなどから再開した時、HiByMusicをExitで一度終了してから再び起動した時、最後に再生した楽曲の再生位置から再生します。

本体の電源をオフにしたり、HiByMusicをスワイプで終了すると、この機能は無効になります。

フォルダスルー再生

オンにすると、再生時、フォルダ再生をしている場合に、フォルダの最後の曲を再生し終わると、次のフォルダの曲を再生します。オフの場合は、フォルダ内の曲のみ再生します。

Play through albums : プレイスルーアルバム

オンにすると、再生時、アルバム再生している場合に、アルバムの最後の曲を再生し終わると、次のアルバムの曲を再生します。オフの場合は、アルバム内の曲のみ再生します。

Exclusive HQ USB : USB排他出力モード

オンにすると、USB Digital outから外部DACを使用している場合、HiByMusicで音楽を再生した時に、AndroidオーディオスタックをバイパスしてAndroidの出力制限を回避し、端末の最大再生スペック内の範囲で音源データのフルスペックを出力する事が出来ます。

また、オンにした場合は、HiByMusicで再生している音だけ出力します。他の再生アプリや、Androidに関わる通知音などが出力されなくなります。



Exclusive HQ USBをオンにした状態でプレイヤーと外部DACをUSBケーブルで繋げた場合、アクセス許可のポップアップが出ます。

OKを押すと、HiByMusicからの再生音だけを端末のフルスペックで出力します。

キャンセルを押すと、Exclusive HQ USBの機能がオフになってしまいます。

必ずOKを押してください。

また、OKにする事で、USB Digital outのボリュームを、USBソフトウェアボリュームで調整出来ます。ボリュームステップは128ステップです。

AndroidプレイヤーでMQAに対応した外部DACを接続してMQAを再生する場合、外部DACを接続後、設定メニューで“Exclusive HQ USB”をオンにし、USBソフトウェアボリュームをMAXに設定してください。この設定にする事で、MQAデータを外部DACに出力出来るようになります。

プレイヤー、外部DACによっては、この設定でもMQAを正しく出力出来ない場合がございます。

iOSのHiBy MusicはMQA出力に対応しておりません。Androidスマートフォンによっては、SRC回避が出来ず正しく出力出来ない場合があります。

USB output setting : USBアウトプットセッティング

■ USB Audio Performance mode : USBオーディオパフォーマンスモード

USB接続したUSBサウンドカードで正しく再生されていないとき、パフォーマンスモードをオンにすると、スタック状態の一部を最適化、改善出来る事があります。この機能をオンにすると、消費電力が増加します。必要に応じてオンにしてください。

■ ハードウェアがDoP…

ハードウェアがDoP/ネイティブUSB出力モードをサポートしているのにサウンドが歪んでいる場合、このオプションで問題を解決出来ます。ボリュームはスマートフォン側で最大でロックされる事に注意してください。独立したボリュームコントロールボタン/ノブを備えたUSBオーディオデバイスのみ適しています。

All volume locked : 全ての出力ボリュームを最大でロックします。外部DAC側でボリューム調節出来る場合は、用途に応じてこの設定にしてください。

Lock only DSD volume : DSD出力だけボリュームを最大でロックします。

Unlocked volume : 全ての出力のボリュームを調整出来ます。外部DACにボリューム調整機能が無い場合は、この機能を選択してください。

■ DSD gain compensation : DSDゲイン補正

USBオーディオを使用してDoP /ネイティブモードでのDSDフォーマットオーディオ（非PCM出力）の再生をサポートする場合、外部DACでDSDオーディオを再生するときの音量差を改善するために適切なゲイン補正が設定出来ます。外部ハードウェアの音量を下げめにしてから、DSDオーディオフォーマットの音量補正を行います。

“ハードウェアがDoP…”の、“Lock only DSD volume”をオンにしてください。

■ USB Audio Bus speed : USBオーディオバススピード

Android 7.0+システムはバススピードを検出できません。外部DACを使用している場合、場合によっては音が出なかったり、ノイズが出ます。正しいバススピードを設定すると、出力の問題を解決できる事があります。

通常は自動を選択してください。

■ USB Audio Sample Bit : USBオーディオサンプルビット

外部DACが複数ビットレート出力をサポートしている場合、互換性のあるビットレートを設定する事で、音が出なかったり、ノイズが出たりした場合の問題を解決できる事があります。

通常は自動を選択してください。

■ Free USB bandwidth after playback : 再生後にUSB帯域幅を開放する

一部のUSBオーディオデバイスは、オフラインで再生したり曲を切り替えたりした場合、またはサウンド出力していない場合に、この機能をオンにして外部機器を再接続すると接続品質が安定する場合があります。必要に応じてオンにしてください。

DSDモード

DSD出力モードを設定します。

■ **PCM** : DSD音源をUSB出力する時に、プレーヤーのCPUを使用してPCM音源に変換して出力します。

■ **DoP** : DSD over PCMの略で、PCMデータにDSDデータを乗せて送る方式です。転送データとして見かけ上はPCMデータを送る場合と変わりなく、送受信する機器同士でルールを決めてDSDデータを送ることが出来るようにしたものです。

Mac, Windowsが対応しています。

DoP出力している時にプレーヤー側でボリューム調整を有効にすると誤作動やノイズが発生する場合があります。その場合は、“Lock only DSD volume”を選択してプレーヤー側のボリュームを最大でロックする事で問題が解決する場合があります。

■ **Native** : Windowsとの接続にはASIOドライバーが必要です。

Nativeを選択すると、DSD出力信号を変換せずにそのまま出力します。

固定出力サンプリングレート

外部USBオーディオデバイスに出力する際、サンプリングレートを固定する事でデバイスのパフォーマンスを向上させる事が出来る場合があります。

この設定を利用して、プレイヤーのAndroidネイティブのサンプリングレートに合わせる事で、プレイヤー本体のヘッドホンジャック出力の音質が向上する場合があります。

この機能を有効にすると、44.1kHz~192kHzの範囲でサンプリングレートを固定出来ます。

ボリュームモード

■ **ソフトウェアボリューム** : 高精度の64ビット演算と出力デジタルビットストリーム上でボリュームを直接変更します。PCM出力をサポートした機器で動作しますが、DoPまたはネイティブDSD出力では機能しません。

■ **ハードウェアボリューム** : USBオーディオデバイスをリモートコントロールしてボリュームを変更し、デジタル/アナログ変換のダウンストリームで音量を変更します。DoP、ネイティブDSD出力でも機能します。

■ **自動** : 使用可能な場合はハードウェアボリュームが適用され、それ以外の場合はソフトウェアボリュームが適用されます。

言語設定

HiByMusicのシステムの言語設定を変更出来ます。

"システム定義"を選択すると、Androidのシステム言語と同じになります。

フォントサイズ設定

■ **サイズ固定** : 現在のフォントサイズで固定します。

■ **システム定義** : Androidのシステム設定と同じになります。

album cover display style : アルバムカバー表示スタイル

Cover cropping display : 再生音源のカバー画像を、表示するカバー表示領域のサイズにトリミングします。

Cover full display : 再生音源のカバー画像全体が表示され、カバー表示領域の中央に配置されます。

カバーアートと歌詞を自動的に取得する

- **Wi-Fi経由のみ** : Wi-Fi接続している時のみ、自動で取得します。
- **オフ** : 自動で取得しません。
- **キャッシュをクリア** : カバーアートと歌詞に関するキャッシュを消去します。
- **全てのカスタムカバーレコードを消去する** : 取得したカバーアートを消去します。

List sort order : リストのソート方法

- **Alphabetical** : アルファベット順
- **Time added(descending)** : 追加時間 (降順)
- **Time added(ascending)** : 追加時間 (昇順)
- **File size(descending)** : ファイルサイズ (降順)
- **File size(ascending)** : ファイルサイズ (昇順)
- **Track length(descending)** : トラックの長さ (降順)
- **Track length(ascending)** : トラックの長さ (昇順)
- **File format** : ファイルフォーマット

ロックスクリーン設定

- **システムのロック画面を使用する** : Androidシステムと同じロック画面を表示します。
- **HiByMusicのロック画面を使う** : HiByMusic独自のロック画面を使用します。

オフ : HiByMusicのロック画面を表示しません。

通知設定

通知表示の設定をします。システム定義を選択すると、Androidシステムと同じ設定になります。

問題を報告

HiByMusicに関する不具合を中国HiByに報告する事が出来ます。

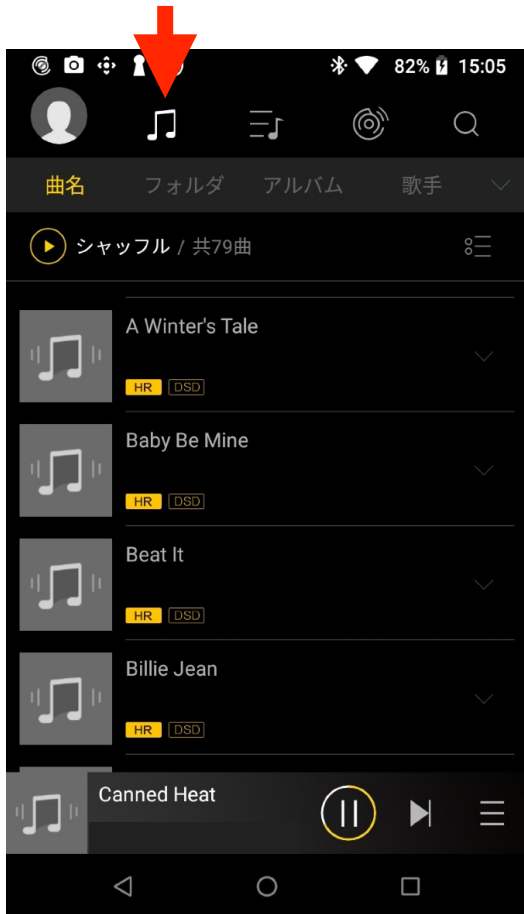
ユーザーズガイド

英語版のユーザーガイドを表示します。

アプリについて

HiByMusicアプリのアップデートがあるか確認出来ます。

ブラウズ



HiBy Music 操作説明

様々な表示方法で、本体ストレージ、Micro SD カードに入っている曲をブラウズ、再生出来ます。表示順序は、“設定”のList sort orderで設定した順序で表示します。

- **曲名**：全ての曲を表示します。
- **フォルダ**：フォルダごとに表示します。
- **アルバム**：アルバムのタイトルごとに表示します。
- **歌手**：アーティストごとに表示します。
- **ジャンル**：ジャンルごとに表示します。
- **Album Artist**：アルバムのアーティストごとに表示します。
- **Private Cloud**：Baidu/OneDrive/DLNA/LANなどのネットワーク上の曲データを表示します。

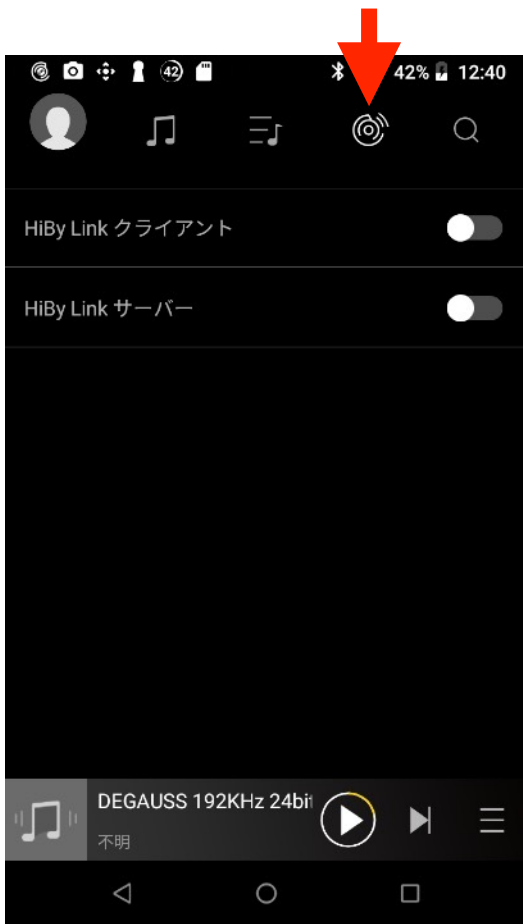
曲名、アルバム名、アーティスト名を長押しすると、メニューが出てきます。キューに追加や、プレイリストに追加などの機能が使用出来ます。

リスト



- **お気に入り**：お気に入りに追加した曲を表示します。
- **最近再生した**：最近再生した曲を表示します。
- **リスト**：作成したプレイリストを表示、プレイリストを作成、プレイリストをインポートの操作が出来ます。プレイリストは、M3Uファイルで作成されます。インポートはM3Uファイルをインポート出来ます。プレイリストを長押しすると、メニューが表示されます。内部ストレージ、もしくは外部ストレージにプレイリストをバックアップ出来ます。

HiBy Link

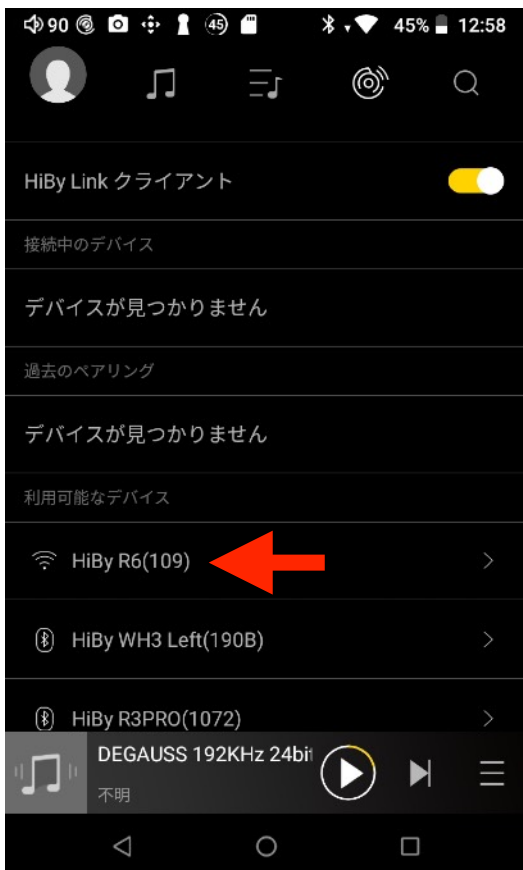


HiBy Link クライアント

オンにすると、HiBy Linkに対応している機器内の音源を、この機器でブラウズ、再生の操作が出来ます。外部機器をリモートコントロールする時に使用します。

HiBy Link サーバー

HiBy Linkに対応している外部機器からこの機器の中の音源をブラウズ、再生の操作が出来ます。外部機器からこの機器をリモートコントロールする時に使用します。



HiBy Link クライアント接続方法

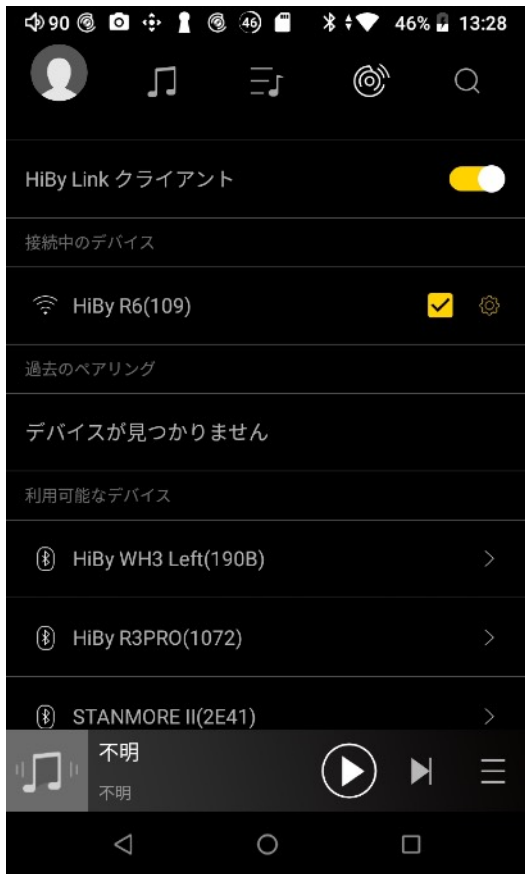
この機器で外部機器をリモートコントロールします。

HiBy Link クライアントをオンにします。

この機器と接続したい外部機器のBluetoothをオン、または同一LANネットワークに接続します。

外部機器がHiBy Link サーバーになっている場合、利用可能なデバイスに機器名が表示されます。

ここでは、HiBy R6に接続します。



機器名をタップし、接続が成功すると、接続中のデバイスの項目に機器名が表示されます。

ブラウズ

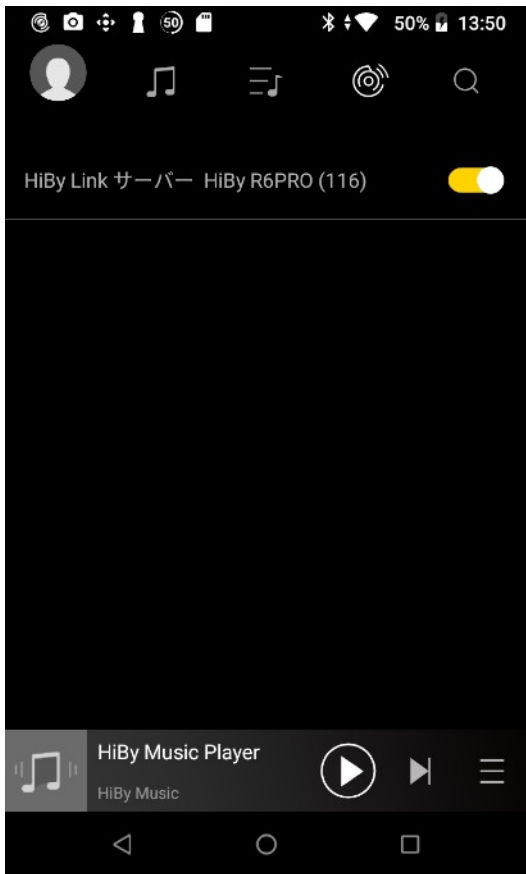


ブラウズボタンを押します。

“スキャンを開始します”をタップします。
外部機器内にある音源データを検索します。
検索が終わると、それぞれの表示項目で音源データを表示出来ます。
再生方法は、通常と同じ方法で再生出来ます。

これで、外部機器内の音源をリモートコントロール出来ます。音は、外部機器から出力されます。

HiBy Linkを終了するには、“HiBy Linkクライアント”をオフにします。



HiBy Link サーバー接続方法

外部機器からこの機器をリモートコントロールします。

HiBy Link サーバーをオンにします。

外部機器をHiBy Link クライアントに設定します。この機器と外部機器のBluetoothをオンにするか、同一LANに接続します。外部機器にサーバー設定した機器名が表示されますので、タップして接続します。接続が成功すると、外部機器からこの機器をリモートコントロール出来ます。音はこの機器から出力されます。

HiBy Linkを終了するには、“HiBy Link サーバー”をオフにします。

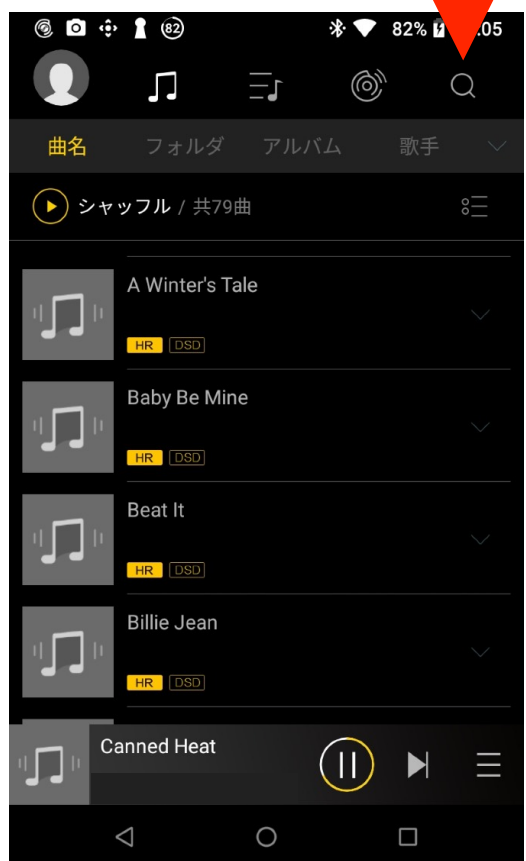
BluetoothでのHiByLink接続方法

例) iphoneとNew R6

両方の機器のWifiはOFFの状態です、

- 1.iphoneのBluetoothをON
- 2.New R6のBluetoothをON
- 3.New R6のHiBymusicを立ち上げ、HiBy LinkサーバーをON
- 4.iphoneのHiBymusicを立ち上げ、HiBy LinkをON
- 5.iphone側の画面の“利用可能なデバイス”に、“HiBy R6”と表示される
- 6.“HiBy R6をタップ
- 7.接続成功。iphone画面の“接続したデバイス”に“HiBy R6”と表示される。
- 8.ブラウズボタンからNew R6内の曲を検索して再生可能

曲検索

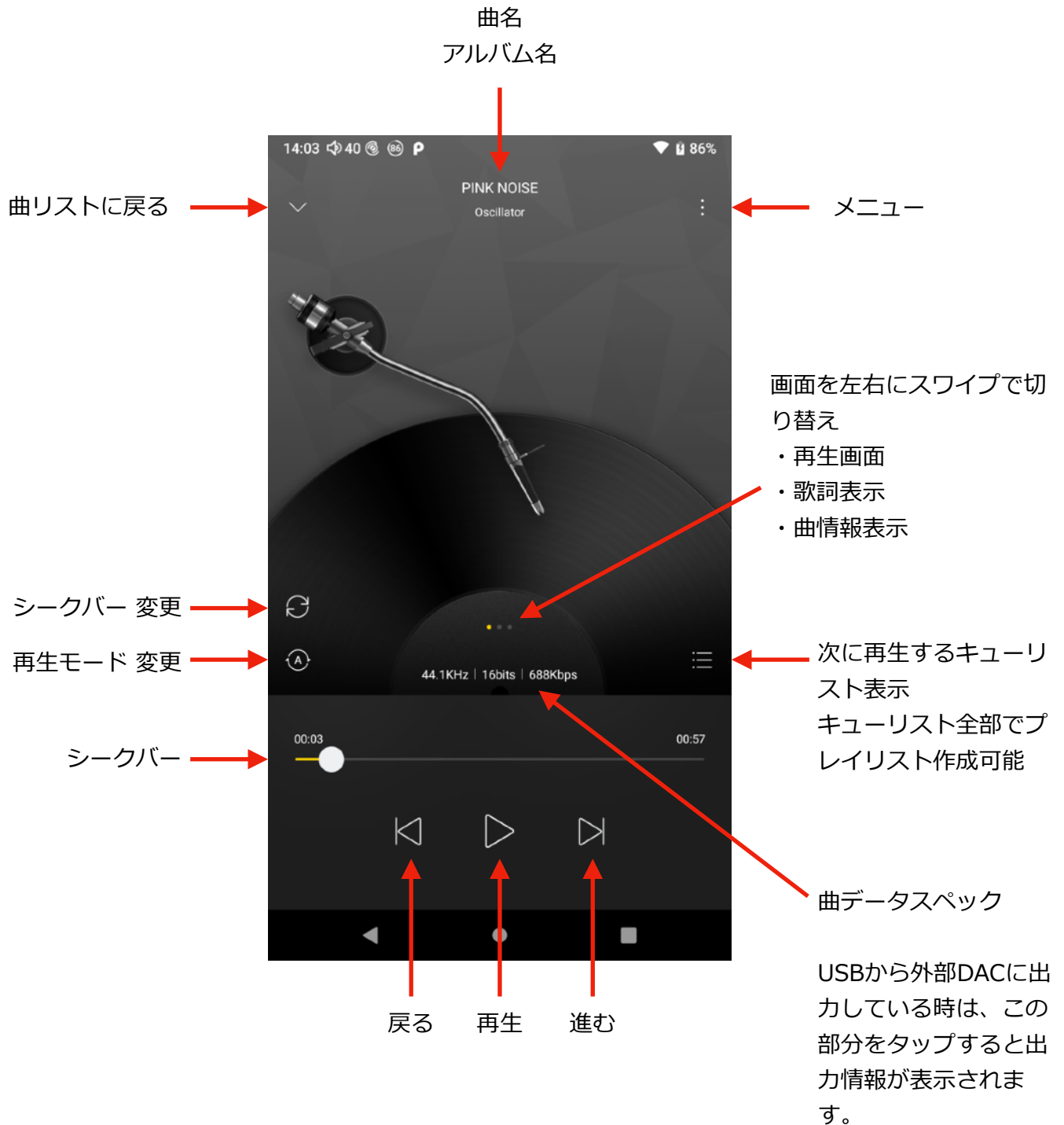


曲検索

曲を様々なワードで検索出来ます。

検索すると、それぞれの項目で表示出来ます。

再生画面



歌詞表示方法

歌詞の表示方法には2種類あります。

音源データのタグ情報に埋め込む方法と、音源データと同じフォルダに音源データと同じ名前の"lrc"ファイルを入れる事で、歌詞を表示する事が出来ます。

HiBy Musicは、タイムスタンプが入っている歌詞と入っていない歌詞の両方表示出来ます。

曲を再生すると、入力したタイムスタンプに従い歌詞が自動スクロールします。タイムスタンプが入っていない歌詞は表示出来ませんが、自動スクロールしません。

1. タグ情報にタイムスタンプ付き歌詞を埋め込む場合

タグ情報に歌詞を埋め込む場合は、タグの"LYRICS"フィールドにタイムスタンプ付きの歌詞を入力します。曲を再生すると、入力したタイムスタンプに従い歌詞が自動スクロールします。

タイムスタンプ付き歌詞例

[00:01.00] ABCDE
[00:02.00] FGHIJ
[00:03.00] あいうえお
[00:04.00] かきくけこ
[00:05.00] アイウエオ
[00:06.00] カキクケコ

タイムスタンプ

[00:00.00]=[分:○.○秒]



2. タグ情報にタイムスタンプ無しで歌詞を埋め込む場合

タグの"LYRICS"フィールドに歌詞を入力します。

曲を再生すると、歌詞の一番上に、

"これらの歌詞では自動スクロールは対応していません"

と表示します。

表示された歌詞は、自由にスクロール出来ます。

歌詞例

ABCDE
FGHIJ
あいうえお
かきくけこ
アイウエオ
カキクケコ



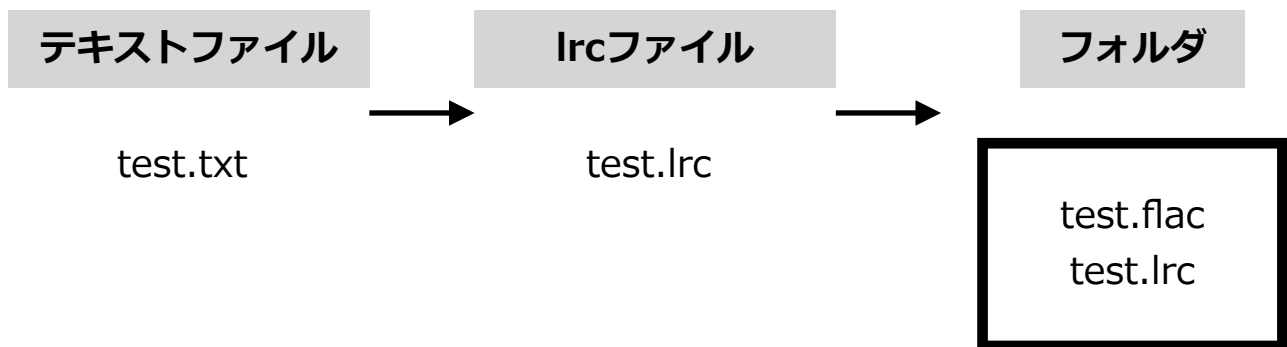
3.lrcファイルを使用してタイムスタンプ付きの歌詞を表示する場合

音源データと同じフォルダに音源データと同じ名前の"lrc"ファイルを入れる事で、歌詞を表示する事が出来ます。

テキストファイルにタイムスタンプ付きの歌詞を入力し、拡張子を".txt"から".lrc"に変更します。

lrcファイルは、名前を音源ファイルと同じ名前にします。

曲を再生すると、入力したタイムスタンプに従い歌詞が自動スクロールします。



4.lrcファイルを使用してタイムスタンプ無しの歌詞を表示する場合

音源データと同じフォルダに音源データと同じ名前の"lrc"ファイルを入れる事で、歌詞を表示する事が出来ます。

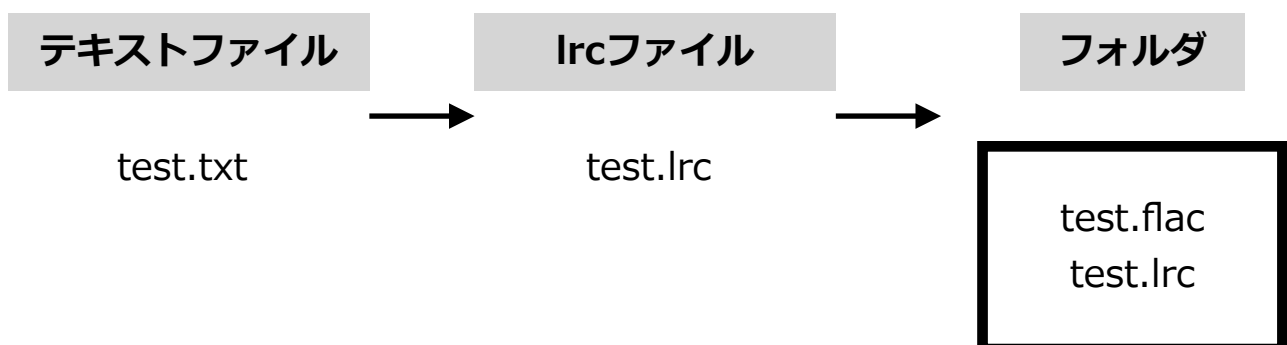
テキストファイルにタイムスタンプ無しの歌詞を入力し、拡張子を".txt"から".lrc"に変更します。

lrcファイルは、名前を音源ファイルと同じ名前にします。

曲を再生すると、歌詞の一番上に、

"これらの歌詞では自動スクロールは対応していません"
と表示します。

表示された歌詞は、自由にスクロール出来ます。



5.歌詞表示の設定

歌詞を表示中、歌詞を長押しする事で、

歌詞タイミングオフセット変更

歌詞サイズ調整

歌詞の色変更

以上が設定出来ます。

歌詞タイミングオフセット変更は、リセットを押す事で設定を元に戻す事が出来ます。



曲アートワーク表示

曲データのタグに画像を埋め込む事で、再生中曲ごとにアートワークを表示する事が出来ます。

画像は、jpegかpngをご使用してください。

画像サイズは、再生時に最適化して表示されます。

画像サイズが大きいと、再生時に読み込みに時間がかかって表示に時間がかかる場合があります。

アルバムアートワーク表示

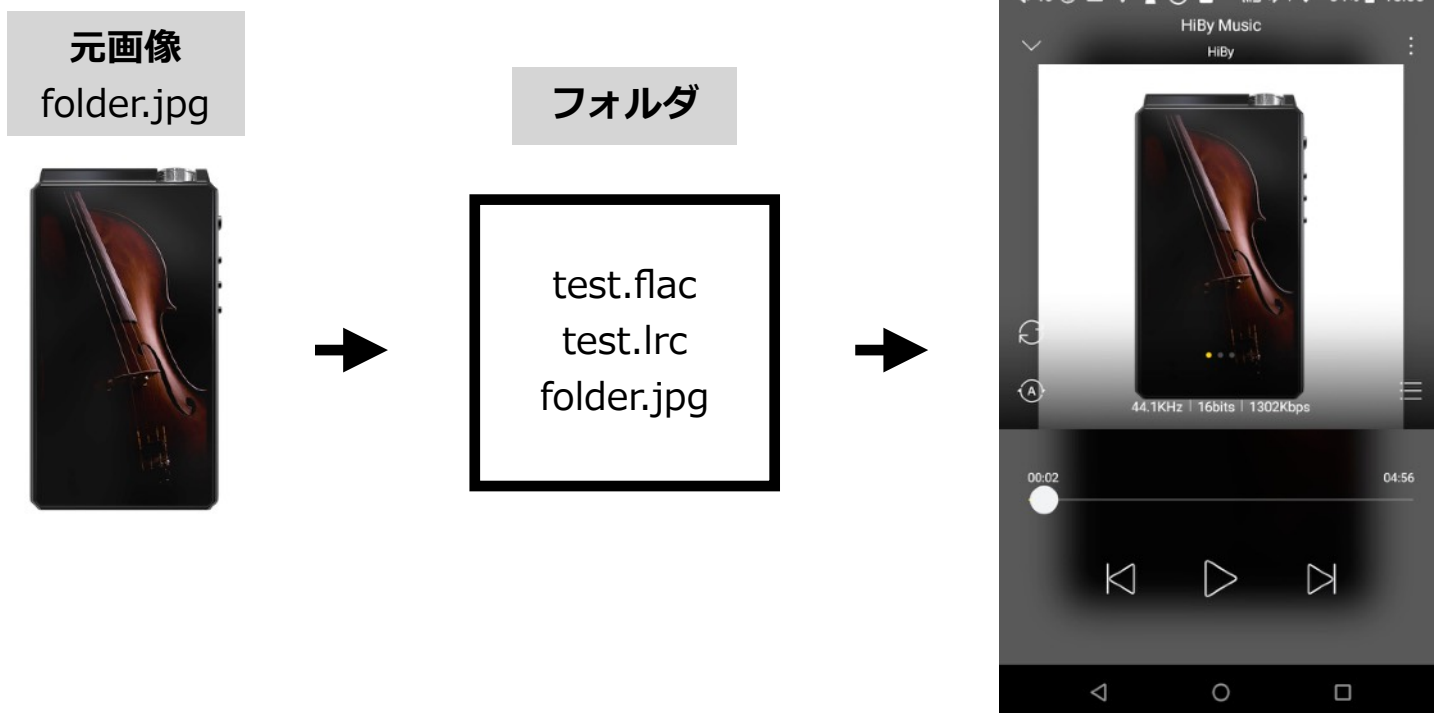
曲データと同じフォルダに、ファイル名を“folder”にした画像を入れてください。

画像は、jpegかpngをご使用してください。

画像サイズは、再生時に最適化して表示されます。

画像サイズが大きいと、再生時に読み込みに時間がかかって表示に時間がかかる場合があります。

曲データに画像が埋め込まれている場合で、曲データと同じフォルダにファイル名を“folder”にした画像を入れた場合、ファイル名を“folder”にした画像が優先表示されます。



免責事項

このユーザーマニュアルは、機能の追加、または、情報の更新により、事前の予告なく変更される事があります。ご了承ください。

また、このユーザーマニュアルを無断で転載する事はご遠慮ください。

製造業者、代理店は、本製品の本来の使用目的以外の不適切な使用および操作に起因する怪我や事故を含む損害に対し、責任を負いません。

本製品を使用中にデータを消失した場合、お客様ご自身の責任となります。

弊社では一切責任を負いませんので、ご了承ください。

- コンシューマーオーディオ製品ご購入前のお問い合わせ

https://www.mixwave.co.jp/c_audio/contact_caudio.html

- ご購入後の初期不良・サポートなどに関する総合お問い合わせ窓口

<https://www.mixwave.co.jp/support.html>



ミックスウェーブ株式会社

〒154-0014 東京都世田谷区新町2-3-2-3F

TEL : 03-6804-1681

Web Site : <http://www.mixwave.co.jp/>